

ミギシ・サテライト

「北菓楼札幌本館」(札幌市中央区北1西5)に
当館所蔵品を紹介する特別展示コーナーを開設!



北菓楼札幌本館 (札幌市中央区北1西5)



旧北海道立三岸好太郎美術館

2016年3月にオープンした「北菓楼札幌本館」の建物は、1926年に北海道庁立図書館として建築され、1967-83年には北海道立美術館・北海道立三岸好太郎美術館として用いられました。かつて三岸好太郎作品が展示され親しまれた歴史的意義を広く伝えるため、北菓楼と北海道教育委員会が連携して、同店に特別展示コーナー「ミギシ・サテライト」を開設。三岸好太郎美術館の所蔵品を展示しています。

12月～3月の作品は《コンポジション》。1932年に東京で展示されたピカソ等フランスの新しい美術に大きな刺激を受けた三岸好太郎が、自らもキュビズムを試みた作品です。中心をなすモチーフは、線描で表されたくびれた形、指板やサウンドホール、弦のような表現から、ギターと思われます。あたたかな木の色をしたギターから、白・黒・グレーの無彩色と青みがかかった寒色によるコンポジション(構成、構図)の美へ向かったところに三岸の創意がうかがえます。



三岸好太郎《コンポジション》
1933年頃